

20011年3月9日

岡山県知事 石井 正弘 様

岡山県平和委員会

会長 大西 幸一

岡山市北区春日町4-26

電話(086)224-3787

県北低空飛行による被害の調査と原因究明及び損害賠償対策の申し入れ

日頃から県民の安全と生活向上に努力されていることに対し、敬意を表します。

さて、貴職もご承知のとおり、3月2日に津山市上田邑の井口貞信さんの土蔵が米軍機の超低空飛行によって突然崩壊し、母屋の屋根、壁、ガラス戸なども破損しました。井口さんの母親(88)は全くの偶然で土蔵から離れており、あわやのところで命拾いをされました。この事故は人命をも巻き込む危険きわまりない事故であったと言わなければなりません。

しかし、これだけの被害が、井口さんをはじめ多くの目撃者の証言で米軍機の超低空飛行によるものと強く疑われていたにもかかわらず、事件発生から1週間経った3月9日になってようやく米軍機が原因であることが判明したことは、国民の安全も生命も尊重されていないと考えざるを得ません。

貴職が、米軍機の低空飛行問題に関しては、情報収集と国への意見表明など、県民の立場に立った対策を講じていただいていることをよく承知し、敬意を表するものですが、今回のこの事件についても下記の対策を緊急にとって下さるよう、申し入れるものです。

記

1. 3月2日の低空飛行と津山市の民家の土蔵が崩壊した事件の因果関係を明確にし、県北一帯の爆音被害を調査して記録すること。
2. 県の責任において、低空飛行を行った米軍機の所属、目的、コース等を一刻も早く明らかにし、このような事件・事故が再び繰り返されないようあらゆる対策をとること。
3. 県民の安心・安全な暮らしを守る責任を有する県として、アメリカ政府及び米軍に抗議するとともに、低空飛行を即時中止し、井口さんと爆音被害者に対して謝罪を行うよう求めること。
4. 津山の土蔵崩壊被害者の井口さんと、県北一帯の爆音被害者に対する補償が早急に行われるよう努力すること。

以上